

内閣府大臣政務官
自由民主党 衆議院議員

村井 ひでき 通信 第26号



埼玉一区 (岩槻区・浦和区・緑区・見沼区)

衆議院議員 村井ひできです。

内閣府大臣政務官を拝命して間もなく1年が過ぎようとしています。皆様から「政務官としてどんな仕事をしているの?」というご質問を多数頂いています。そこで、本号では政務官としての具体的な活動を紹介させていただきます。

政務官は、下記のとおり、官僚の皆さんと協力して、担当分野に関する政策の企画立案を行い、それを大臣に説明して了解を得ます。その上で、与党への根回しを進め、了承を得た法案や予算案を国会に提出。国会では、政府を代表して答弁に立ち、政策を実現に移していくことになります。

私は、内閣府の政務官として、政権の目玉政策である「幼児教育・保育の無償化」の具体化や、国の経済財政政策の方向を示す「骨太の方針」の策定に取り組むと同時に、金融分野での重要課題である「つみたてNISAの普及」や「ビットコインなど仮想通貨問題への対応」に汗をかきました。

政策の企画立案

「幼児教育・保育の無償化」と一口にいっても、認可外保育施設や幼稚園の預かり保育は対象にするのか、など具体的な制度設計は困難を極めます。役所の専門家と検討を重ね、出来るだけ公平な仕組みづくりを進めます。



関係大臣への説明

制度の具体案が出来たら、関係大臣や首相官邸への説明を行います。写真は、加藤勝信厚生労働大臣に説明を行う様子。無償化の範囲に、ベビーシッターなど認可外の保育サービスは含めるべきかなど、様々な議論を行います。



与党との調整

政府を代表して、政府案について与党関係者に説明を行います。与党側からは、「就学前の障害児の発達支援についても無償化をすべき」など様々な意見が出されるため、政府案に必要な修正を加えます。



官邸会議

幼児教育・保育の無償化、骨太の方針など、重要政策の最終意思決定は、「人生100年時代構想会議」、「経済財政諮問会議」などの官邸の会議で行われます。村井は、バックベンチから、総理・関係閣僚をサポートします。



国会答弁

国会では、担当分野に関する様々な質問に対して、答弁を行います。通常国会では、コインチェックの仮想通貨流出問題が大きく取り上げられたこともあり、仮想通貨関連の質問に対して多数国会答弁を行いました。



政策の普及啓発

政策を国民の皆様に分かりやすく伝えることも重要な役割の一つです。写真は、仮想通貨・ブロックチェーンフォーラムで講演を行っている様子。フォーラムには、会場いっぱいの500名以上が参加しました。



国際交渉

日系の金融機関の海外展開を後押しするため、ミャンマーを訪問し、中央銀行総裁や副大臣と面会。証券分野での協力枠組みを発表すると同時に、ミャンマー市場の開放に向けて詰めの折衝を行いました。



車座ふるさとトーク

政務三役が、全国津々浦々を訪問し、担当の政策テーマについて意見交換を行う、「車座ふるさとトーク」プロジェクト。私は、鳥取県・栃木県で、「つみたてNISA」について地元の皆さんと意見交換を行いました。



現地視察

地に足のついた政策立案を行うため、現地視察も多数実施しました。写真は、今年の大発会に合わせて東証を訪問した際のもの。取引所間のグローバル競争に勝ち残るためには、不断のシステム強化が不可欠です。



【村井ひできミニプロフィール】

昭和55年さいたま市生まれ。38歳。家族：妻・長男（3歳）・次男（1歳）。浦和市立別所小学校卒業。東京大学卒業後、財務省入省。ハーバード大学大学院修了。平成23年財務省退官（主税局参事官補佐）。平成24年12月第46回総選挙初当選。平成26年12月第47回総選挙再選。平成29年10月第48回総選挙3選。現職：内閣府大臣政務官、埼玉県野球協会会長、埼玉県サイクリング協会会長

地元事務所

国会事務所

〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-27-9
TEL:048-711-3241 / FAX:048-711-3242

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館911号室
TEL:03-3508-7467 / FAX:03-3508-3297

＜発行＞自民党埼玉第一選挙区支部（岩槻区・浦和区・緑区・見沼区）
〒330-0061さいたま市浦和区常盤9-27-9 平成30年6月発行【討議資料】

村井の訴え

～今こそ、政治不信を乗り越える国会改革を～

7月22日、通常国会が閉会します。半年間にわたる国会の審議では、私も内閣府大臣政務官として、何度も答弁にたち、法案や政策の趣旨について丁寧に説明を行ってきました。しかしながら、**今回の国会を振り返って、国民の皆様のご期待に応えられる充実した審議が行われたかと問われれば、正直に言って、非常に多くの課題が見えた半年でした。**

3月以降、与野党の議論は森友問題と加計問題に集中。国会で同じようなやり取りが延々と繰り返され、議論が深まらないまま、野党が審議拒否を連発。結果的に、法案審議の時間が少なくなり、重要法案の審議にも支障を来たす事態になってしまいました。

もちろん、森友・加計問題については、政府が適時・的確に説明を行ってきたとは到底言えません。内閣の一員として、大変申し訳なく思っております。今後も、政府関係者がしっかり説明責任を果たし、再発防止に取り組んでいく必要があることは言うまでもありません。一方で、我が国を取り巻く環境は厳しさを増しています。外交面では、北朝鮮情勢の急激な変化、トランプ政権による不安定な通商政策、中国の影響力拡大など、戦後の国際秩序が動揺しています。内政でも、人生100年時代に対応した社会保障や雇用制度の見直しがあったなしです。

国民の代表である国会は、本来、こうした重要政策を議論すべきです。しかし、現在の国会は、戦後の55年体制の古い慣行が続いており、政策討議よりスキャンダルの追及や日程闘争が優先されがちです。そして、一度スキャンダルが起こると、国会が混乱し、重要な政策の議論が全てストップする。残念ながら、これが国会の現状です。



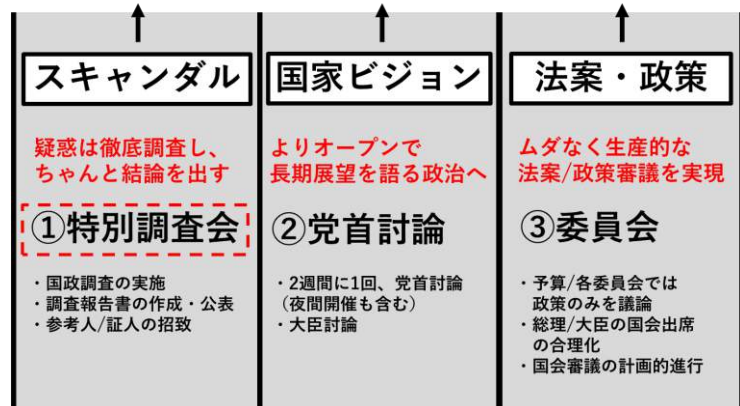
【現状の国会：3種類の議論に対して“一車線”のみ】

これでは、国会が本来の役割を果たしているとは言えない。こうした問題意識のもと、自民党では、**小泉進次郎議員など若手議員の有志で勉強会（正式名称：2020年経済社会構想会議）を立ち上げ、国会改革のあり方を議論してきました。村井は事務局長として、喧々諤々の議論をまとめあげ、6月27日に提言を公表しました。**

今の国会は、いわば「一車線」の狭い道路のようなものです。一度、交通事故（＝スキャンダル）が起きると、道路が塞がれてしまって、何も動かなくなる。これを解決するには、車線を増やすしかありません。

そこで、**我々は、国会を「三車線」の広い道に変えることを提言しました。**すなわち、①スキャンダルは特別調査会、②国家の重要政策や基本方針は隔週で夜間に開催する党首討論、③予算案や法案は通常の委員会、と議論の交通整理を行うべき。こうすることで、政権のスキャンダルや疑惑については、特別調査会で徹底調査し、しっかり結論を出す一方、政策論議は別トラックで粛々と進めていく。そして、国会の本来の役割を取り戻すことで、政治不信を乗り越える出発点としていく。これが我々の提言です（詳細は、村井英樹公式ブログ7月1日付記事参照）。

今回の森友・加計問題により、国民の皆様から、政治は何をやっているのか、お叱りを受けることが多く、私としても大変心苦しく思っております。今こそ、政治が自浄作用を発揮し、自らを変えるべき時です。**村井としては、しがらみのない若手議員として、今後も、「おかしいところはおかしい」、「変えるべきところは変える」としっかり主張し、改革を実行に移していきたいと思っております。**



【理想の国会：3車線でもよりスムーズかつ本質的な議論を】

【主なメディア掲載】

◎読売新聞（6月29日朝刊）で村井の仕事振りが特集されました。
『村井は想定問答まで自分で作る。役人仕事を全てこなしてしまう。こちらが入り込む余地はないよ』財務省主計局の幹部がぼやく対象は、かつて後輩だった村井英樹。（本文より抜粋）
など、日々の活動がよく分かる内容です。ご関心のある方は、村井ひでき事務所までご連絡下さい。

◎中央公論8月号（7月10日発売）では、明日の日本を創る若手議員鼎談として、小泉進次郎議員、福田達夫議員（父は福田康夫元総理、祖父は福田赳夫元総理）と鼎談した模様が特集されます。是非、ご覧下さい。

【写真は毎日新聞「政治プレミア」より】



【こども国会見学始めます！】

好評を頂いている国会見学ですが、今年の夏休み期間に合わせて、こども国会見学を開催します。国会は、閉会中の可能性が高いですが、村井自身が、国会の役割や、日々の仕事内容等について、丁寧に話しさせていただきます。政治を少しでも身近に感じて頂ける機会ですので、是非お越し下さい。ご関心のある方は、村井ひでき事務所（048-711-3241）までご連絡ください。

第1回：8月 3日(金) 10時～ 【国会見学に来て頂くと様々なサプライズも!?!】

第2回：8月16日(木) 10時～

第3回：8月22日(水) 10時～

※原則として小学生が対象で、ご家族の方に同伴して頂くこととなります。1回あたり先着50名様までとさせていただきますので、何卒ご了承ください。



【地元課題への取り組み】

身近な課題にも積極的に取り組ませて頂いております。浦和美園に建設予定の大学病院の整備については、若干のスケジュールの遅れはありますが、県・市で既に7.3haの用地を確保済みであり、早期の着工に向け現在最終調整を行っている段階です。この大学病院は、「質」・「規模」とともに埼玉県トップクラスの医療機関であり、さいたま市の地域医療の充実に大いに貢献することから、早期の開院に向け引き続き全力で取り組んで参ります。

その他、浦和駅北口改札の開設時間の拡大（現状朝7時～深夜24時15分）、七里駅北口の開設、大宮・さいたま新都心から浦和美園にかけての東西交通ルートの整備など利便性向上に向けた取り組みや、地域の公園の改修・通学路の安全確保など住みよいまちづくりに向けての身近な取り組みも進めております。

身の回りで、お気づきの点や、お困りのことがございましたら、お気軽に村井ひでき事務所までご連絡ください。

村井を含め10名の事務所スタッフが誠心誠意対応させていただきます。



【その他】

プライベートで恐縮ですが、4月から長男が地元浦和の幼稚園に通い始め、また二男も無事に1歳となりました。子育てしながら、本当に多くのことを学ばせて頂いております。この学びを、国の政策や、さいたま市の身近な子育て環境の改善に活かして参ります。写真は、荒川総合運動公園にて。

